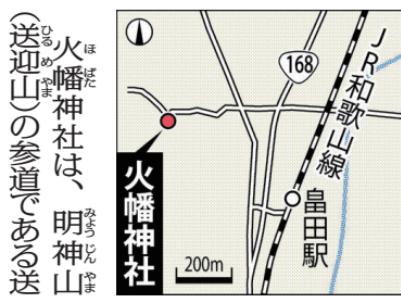




火幡神社の拝殿＝王寺町畠田5で

送迎太神宮の拝殿 移築

(奈良まほろばソムリエ
の会会員 坂口隆信)



火幡神社（王寺町）



迎道の近くに鎮まります。送迎道は王寺町畠田と大阪府柏原市を結ぶ道でもありました。

社伝によりますと、平安時代前期の806(大同元)年の創建で、祭神は火之戸幡姫命とされ、すぐれた織物や機織を意

味する火幡（秀機）の言葉から養蚕や機織を担う集団により祭られたのが始まりとされます。

拝殿は1971(昭和46)年に再建されました。

それ以前は明神山の山頂にあった送迎太神宮の拝殿を移築したものと伝わっています。

江戸時代には一斉に伊勢神宮にお参りする現象があり、「おかげ参り」と呼ばれました。1830(文政13)年は大規模

神宮の天照大神が祭られました。しかし、翌1831(天保2)年に本殿は伊勢神宮の偽物として、畠田村の領主であつた郡山藩主によって取り壊されました。

鳥居前にある一対の石燈籠は大阪の人々が奉納したもので、これを基に送迎太神宮を建立し、伊勢が撤去された後にこの場所に移されたと考えられています。

(住所) 王寺町畠田5の12の1
(祭神) 天兒屋根命、
息長帶比賣命、誉田別命、
玉依姫命、天照大神

(交通) JR畠田駅から徒歩約20分
(拝観) 境内自由
(駐車場) あり
(電話) 090・98889・7028